

ロータリー財団月間

Governor's Message

ロータリー財団月間に寄せて

国際ロータリー第2750地区 2012-13年度 ガバナー 佐久間 崇源



ロータリー財団は1917年に、アーチ・C・クランフ氏の呼びかけで創設された「ロータリー基金」がその始まりです。その時、語られた「Doing good in the world — 世界でよいことをしよう」はロータリー財団の標語となりました。1928年には法人としてのロータリー財団となり、教育的なプログラムと人道的なプログラムを積極的に推進してきました。

「ロータリー財団国際親善奨学金」制度は代表的な教育的プログラムで、緒方貞子さんもこの奨学金を受けた一人です。アカデミー賞の候補になった「ザ・ファイナル・インチ」(タイトルはソルジェニツェンのThe rule of the final inch...をもとにしている)という映画ではポリオ撲滅の最後のステップに取り組み、家から家へ、村から村からへと歩き回る人々の努力が描かれています。ポリオ撲滅が「最終段階」に入った事についてはロータリーの運動によるところが極めて大きいといえますが、最後の一步を着実且つ慎重に進める必要があると感じています。

ロータリー財団のプログラムは拡大発展の一途をたどってきましたが、「国際親善奨学金制度」にみら

れるように、プログラムはほとんど変更されることなく続けられました。2017年に財団創立100周年を迎えることにも鑑み時代に応じたロータリー財団の在り方を考え、「持続可能で目にみえる成果を世界中にもたらしたい」というロータリアンのニーズに応えようと立案されたのが「ロータリー財団のFuture Vision」です。2013-14年度には新方式が全面的に導入され、プログラムと資金管理の改善、各種手続きのオンライン化/運営の簡素化が実施されることになっています。

ロータリー財団は、ロータリアンからの寄付によって成り立っています。故岩井敏パスト・ガバナー(前公益財団法人ロータリー日本財団理事長)が中心となってロータリー財団の意義を粘り強く説いてついに実現した財団寄付の「税制上の優遇措置」も「寄付」への大きな励みです。実際にプログラムに取り組む事は素晴らしい奉仕ですが、寄付をする事も同じように立派な奉仕となります。財団の六つに集約された重点分野は、そのどれもが「(世界の貧しい人達の)健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済する事を通じて、世界理解、親善、平和を達成すること」へとたどり着く道です。

私たちはこの道を、共に手を携え弛まぬ努力をもってつき進もうではありませんか。

INDEX

- ① ガバナーメッセージ [ロータリー財団月間に寄せて]
- ② ロータリー財団委員会 活動通信
- ③ 地区行事日程
- ④ 銀座・日本橋グループ 活動通信 [東京銀座RC/東京日本橋RC]
- ⑤ 京浜グループ 活動通信 [東京品川中央RC]
- ⑥ 山の手東グループ 活動通信 [東京世田谷南RC/東京自由が丘RC/東京米山友愛RC]
- ⑦ 多摩中グループ 活動通信 [東京立川RC/東京三鷹RC]
- ⑧ 多摩東グループ 活動通信 [東京武蔵府中RC]
- ⑨ クラブ支援委員会 活動通信
- ⑩ 公共イメージ委員会 活動通信 / 2013年リスボン国際大会へ
- ⑪ 会員委員会 活動通信
- ⑫ ICU 東ヶ崎潔記念ダイアログハウス建設支援募金推進委員会 活動通信
- ⑬ 寄付報告/文庫通信/物故
- ⑭ 出席報告/編集後記

ロータリー財団委員会 活動通信



11月は、ロータリー財団月間「未来の夢計画」が本格的に移行時期に入りました…!

ロータリー財団委員会 委員長 鈴木 義明 (東京武蔵国分寺RC)

今回は「ロータリー財団の未来の夢計画」の中でも特にクラブと直接関わりのある補助金プログラムの変更点をクラブ側から見たメリットにフォーカスを当て説明致します。

「ロータリー財団の未来の夢計画」とは一言でいうと「ロータリー財団のプログラムを時代のニーズに合ったものに変える」という事です。つまりロータリークラブやロータリアンの為のロータリー財団に変わる訳です。具体的には様々な手続きが簡素化されロータリー財団のプログラムの使い勝手も良くなります。地区やクラブの裁量で対応できる部分も今まで以上に大きくなります。

それではクラブと直接関わりの深い補助金プログラムについて説明します。

今までの「地区補助金 (DSG)」と「マッチング・グラント (MG)」は無くなり、新しく「新地区補助金 (DG)」と「グローバル補助金 (GG)」に生まれ変わります。

生まれ変わった補助金プログラムに関してクラブ側から見たメリットは大きく4つあります。

1. 同規模のプロジェクトを実施する場合、クラブの現金拠出が現在より少なくて済む。

1件あたりの補助金の上限は、地区補助金では4,000ドルですが、新地区補助金では5,000ドル^(*)となります。また、クラブの現金拠出に関するルールも変更となり、総額5,000ドルのプロジェクトを実施する場合、クラブの現金拠出が地区補助金では2,000ドル必要でしたが、新地区補助金では1,000ドルで済むようになります。

マッチング・グラントとグローバル補助金の関係においてもクラブの現金拠出に対して地区DDFからの補助金がマッチング・グラントでは2倍上限となっておりましたがグローバル補助金では3倍上限^(*)となります。地区DDFからの補助金に対しては同額のWFからの補助金が支給されますので、クラブが5,000ドル拠出した場合は地区DDFとWFを合わせた補助金額はマッチング・グラントの場合20,000ドルでしたが、グローバル補助金では30,000ドルとなります。

2. 多くの寄付を行っているクラブにインセンティブがある。

新地区補助金に関してはクラブの3年前の年次寄付額(一人当たりの額)によって補助金の上限を増減します。

基準：3年前の年次寄付額(一人当たりの額)が100ドル以上、200ドル未満

→ 5,000ドルを上限として補助金を支給します。

減額：3年前の年次寄付額(一人当たりの額)が100ドル未満

→ 4,000ドルを上限として補助金を支給します。

増額：3年前の年次寄付額(一人当たりの額)が200ドル以上

一人当たりの寄付額が100ドル増える毎に補助金の上限が1,000ドル上乗せされます。

但し、上限は10,000ドルです。

3. 新地区補助金 (DG) に関して対象となるプロジェクトの範囲が広がった。

従来の地区補助金は人道的プロジェクトと環境保全プロジェクトにのみ補助金が適用できましたが、新地区補助金は教育的プロジェクトや文化的プロジェクト等、ほぼ全ての奉仕プロジェクトに適用できるようになりました。パイロット地区の申請内容を見てもスポーツ大会やコンサート、展覧会やコンテスト等、従来の地区補助金では対象とらなかったプロジェクトに新地区補助金を適用する例が多くなっております。

4. グローバル補助金 (GG) がオンライン申請となった。

グローバル補助金の申請がWeb画面よりオンライン申請できるようになりました。従来のマッチング・グラントではプロジェクト実施国側と援助国側のガバナーや財団委員長、クラブ会長やプロジェクト責任者のサインがそれぞれ申請書に必要であった為、書類を郵送やFAXでやり取りする必要がありましたが、オンライン申請となり大幅に手続きが省略可能となります。

新地区補助金の申請は2013年2月1日～5月31日、グローバル補助金のためのDDF申請は2013年2月1日～となっております。特に新地区補助金は5月31日を待たず枯渇する可能性が高いと考えられますので早期申請を宜しくお願い致します。

ロータリー財団委員会では今後も皆様に安心して未来の夢計画に移行していただけるように全力で対応してまいります。更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



地区行事日程 (11月・12月・1月・2月)

※下記地区行事日程は10月29日現在のものです。
(毎月月末時点の予定を掲載)
地区行事日程は変更となっている場合がございますので、
予め事前にご確認の上、ご参加下さい。

11月 1日(木) 15:00~16:50	2012-13 地区拡大役員会	メルパルク東京
11月 5日(月) 10:30~	2012-13 山の手西グループ IM	セルリアンタワー東急ホテル
11月 7日(水) 15:00~16:45	2012-13 クラブ代表者会議	ハイアットリージェンシー東京
11月12日(月) 16:00~	東京国立白うめRC創立20周年記念式典	立川グランドホテル
11月13日(火) 15:00~	2012-13 多摩東グループ IM	ハイアットリージェンシー東京
11月15日(木) 9:30~16:00	2013-14 補助金管理セミナー (第1部・第2部)	ハイアットリージェンシー東京B1「クリスタルルーム」
11月16日(金) 12:30~14:45	2012-13 山の手東グループ合同例会	ホテルオークラ
11月18日(日) 12:00~15:00	東京米山ロータリーEクラブ2750 国際ロータリー加盟認証状伝達式	ホテルニューオータニ
11月19日(月)	G公式訪問 (白金・大崎)	
11月20日(火) 15:30~20:00	2012-13 多摩南グループ IM	京王プラザホテル八王子
11月22日(木) 15:00~17:00	2012-13 第3回新会員オリエンテーション	黒龍芝公園ビル9階会議室
11月26日(月) 10:00~17:00	ロータリー財団地域セミナー	ホテル グランパシフィック LE DAIBA
11月27日(火) 18:30~21:00	第41回ロータリー研究会 RI会長ご夫妻・TRF管理委員長歓迎晩餐会	ホテル グランパシフィック LE DAIBA
11月28日(水) 8:30~21:00	第41回ロータリー研究会	ホテル グランパシフィック LE DAIBA
11月29日(木) 8:30~17:30	第41回ロータリー研究会	ホテル グランパシフィック LE DAIBA
11月30日(金)	ベルリン世界平和会議 (～12月2日 (日))	

12月 1日(土) 17:00~20:00	2012-13 米山冬の懇親会	ホテルニューオータニ
12月 2日(日)	G公式訪問 (PBG) ～13or14日	
12月17日(月) 15:00~17:00	2012-13 第4回新会員オリエンテーション	ガバナー事務所
12月19日(水) 15:00~16:50	2012-13 地区役員会	ガバナー事務所
12月19日(水) ~	2012-13 運営連絡会 (忘年会)	

1月13日(日)	2013年 国際協議会 (～19日)	カリフォルニア州 サンディエゴ
1月16日(水)	2012-13 第2回クラブ米山委員長セミナー	ヒルトン東京
1月20日(日) 14:00~17:00	2012-13 青少年交換 派遣国決定通知書授与式・新年会	オリンピック青少年センター
1月23日(水) 15:00~17:00	2012-13 第2回クラブ会長・幹事会	目黒雅叙園
1月25日(金)	ホノルル世界平和会議 (～27日)	

2月 7日(木)	2012-13 R L I Part II	
2月 8日(金) 15:00~	2012-13 新会員セミナー (懇親会)	
2月 9日(土)	2012-13 米山奨学生期間終了式	京王プラザホテル新宿
2月12日(火)	東京田園調布緑RC創立20周年記念式典	プラザ・アヘア
2月13日(水) 13:30~17:30	地区チーム研修セミナー (懇親会あり)	都ホテル東京
2月21日(木)	2012-13 地区大会 RI会長代理晩餐会	ザ・プリンスパークタワー東京
2月22日(金)	2012-13 地区大会	ザ・プリンスパークタワー東京

銀座・日本橋グループ 活動通信



銀座通・晴海通 歩道一斉清掃キャンペーンへの参加

東京銀座RC 幹事 松崎 宗仁

銀座は「安心・安全・きれいな街」を標榜する街であり、その一助となるべく当クラブでは社会奉仕委員会・ロータリーアクト委員会が主催し、春・秋の年2回の地元の清掃活動を行っております。この清掃キャンペーンは平成4年より始められた銀座の清掃活動で今回で38回目となります。去る10月5日（金）9時に数寄屋橋交差点交番前の「はぐれっ子」像（当クラブの寄贈した銀座案内板）前に集合した、東京銀座RC会員・東京銀座新RC会員・東京銀座ローター

アクトクラブ会員の約70名は、交番周辺の清掃を始めます。当日は銀座通り・晴海通りに面する店舗も一斉に清掃をします。お客様もより気持ちの良いお買い物ができることと思っています。清掃の後は近隣の喫茶店でお茶会をいたしますが、当クラブ・銀座新クラブ・アクトが一同に顔をあわせ親睦を深める場となります。奉仕に汗をかき、親睦を深める有意義な奉仕活動であると思っています。



「日本橋らしく」55周年へ

東京日本橋RC 幹事 黒田 俊幸

東京日本橋ロータリー・クラブは、本年度初頭より約3年半ぶり、例会場をパレスホテル東京へ変更しました。皇居のお濠を目の前にした素晴らしいロケーションです。本年度も栗原会長の方針、「日本橋らしく」地域に根差し、「魅力ある楽しいクラブをつくる」、すなわち会員増強（退会防止）とクラブの活性化へと繋げるべく、活動を行っております。

まずは7月22日（日）、社会奉仕委員会としての「名橋日本橋洗い」への参加。これは日本橋4RC（東京日本橋東RC、東京日本橋西RC、東京シティ日本橋RCとの）共同事業*であり、年度後半の日本橋川浄化作戦：EM団子投入、へと繋がっていくものであります。



職業奉仕委員会では11月に美術館見学会を予定、そして国際奉仕委員会では米山奨学生2名の受け入れ、NPO「難民を助ける会」を通じてのザンビアへの蚊帳購入資金寄付*、また新たに東京品川RC主催の「カンボジア教育支援プロジェクト」への参加を決めております。一方、社会奉仕・復興支援に関わるものとして、「福島県浪江町（原発被災地）復興支援プロジェクト」（東京渋谷RC、第2750地区復興支援委員会との共同）に参加、その実行へ向けて、先頃現地訪問を行い、被災地・町民の現状、町づくり展望とその問題点への理解を深めました。被災地支援活動としては、昨年度の4RC共同「福島県へ元気を送ろう」プロジェクトを引き継ぎ、福島の桜を中央区に植樹する事業についても、年明け春季に実施する予定です。

また、クラブ奉仕としては親睦委員会主催による炉辺会、クリスマス家族会、観桜会を始め、当クラブの誇る11同好会への活動サポートを通じて、会員の維持拡大へと繋がっていきます。

2013年6月、東京日本橋RCは創立55周年を迎えます。当クラブ会員、我々の大先輩であった故片倉章雄前ガバナーの御遺志を受け継ぎ、田中作次RI会長の掲げる「奉仕を通じて平和を」Peace Through Service の実現へ向け、以上のような活動を通じて、メンバー相互の結束を深めてまいります。

京浜グループ 活動通信



東京品川中央RC “ボランティアコンサート” — 2012.10.02 御殿山小学校にて 木管五重奏 —

東京品川中央RC 広報担当 野口 真紀子

東京品川中央RCは本年創立45周年を迎えました。

当クラブは社会奉仕活動のひとつとして品川区の小学校を対象としてボランティアコンサートを17年間継続して行っています。

本年は4校にて行う計画で、10月2日に御殿山小学校で、木管五重奏のコンサートを行いました。

演奏は東京芸術大学の4年生によるもので、変則的に金管が1本入り、ホルン・フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴットの編成でした。耳慣れた曲で個々の楽器を奏でて音質を明解に伝えた後、となりのトトロより散歩、サウンドオブミュージック、秋に因んだ童謡メドレーなど生演奏を沢山味わっていただきました。

体育館ですが、ハーモニー、アンサンブルともによくまとまった美しい演奏でした。はじめに先生から音楽を聴くときの注意が伝えられ、児童の皆様は約1.5時間静かに演奏を聴き、知っている曲は歌い、手拍子で楽しんでいただきました。

最後に児童の代表二人が感想を述べてくださり、クラシック音楽への感性に優れていることに驚きを覚え、私たちの意図が十分に伝わったと感じました。



山の手西グループ 活動通信



三国（日台韓）合同親善親睦会の開催

東京世田谷南RC 会長 富田 稔

私ども東京世田谷南RCは、台北城北RCと1985年からソウル南西RCとは2002年から姉妹クラブを締結しています。そして2004年3月博多で3クラブによる親善親睦会を皮切りに、一昨年のソウルにおける親善親睦会を経て、今回10月15日から17日の予定で第7回親善親睦会を東京で開催致しました。

昨年6月開催する予定でしたが東日本大震災の関係で延期し、また、震災の支援として両クラブから合計40,000ドルの寄付金の寄贈を受けたこともあり、少しでも感謝の気持ちをお伝えする機会になればと思い開催致しました。

しかしながら、両国との関係は残念ながら我々が期待する方向には進んでいませんが、私たち姉妹クラブは親善親睦会を開催したことにより、更にお互いの違いに寛容になり、感謝の気持ちを抱くことが出来ました。

我々は、アジアの隣国同士として、地理的にも文化的にも多くの共通点や類似点を持つ一方、それぞれ固有の伝統

や文化を持っています。お互いにロータリアンとして、また尊敬できる友人として、さらなる相互理解と交流を深めたいと念願しています。



東京自由が丘RCの活動

東京自由が丘RC 会長 高橋 悟



東京自由が丘RCは音楽をクラブの大きな特徴として活動を行っております。いくつかの活動の中から「親子のふれあいコンサート」をご紹介します。毎年春先に開催しております。目黒に在住する親子をご招待して

オーケストラに親しんでいただき、色々の楽器にふれて実際に音を出す体験をします。そして「指揮者に挑戦！」な

ど企画盛りだくさんです。また、今年は皆様のお蔭で「1000回例会」を迎える事が出来ました。これからもご指導のほど宜しくお願い致します。



東京米山友愛RCの活動

東京米山友愛RC会長 村田 彰子

私たち東京米山友愛ロータリークラブは、2010年2月に創立して3年目の若いクラブですが、米山学友が多く在籍し、会員の出身母国は日本を含めて10カ国に及んでおり、多様な文化的背景を有する多国籍の会員が所属するという特徴をいかした活動を行っています。

今年度は「ロータリーを楽しみ、親睦と奉仕の輪を広げよう」を合い言葉に、会員それぞれがアイデアを出し合い、全員で協力し合って仲良く汗をかき、より充実した活動をしていきたいと思っております。

11月初めには、震災復興支援活動の一環として、現地ロータリークラブのご協力を得て南三陸で仮設住宅にお住まいの方々にネパール舞踊とともにカレーの炊き出しを行

う予定です。また、11月18日には、当クラブがスポンサー・クラブとなりました東京米山ロータリーEクラブ2750の国際ロータリー加盟証状伝達式が開催されます。

今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



多摩中グループ 活動通信



独自の国際奉仕と親睦への思い

東京立川RC 広報委員会 中山 賢二

【国際奉仕】 50回継続の姉妹市高校生交換事業

国際奉仕委員会担当の当クラブ独自事業の姉妹市委員会事業をご紹介します。1959年12月23日に米国カリフォルニア州サンバーナディノ市（略称：サン市）と立川市の間に姉妹市が締結（ちなみに立川市の姉妹市都市提携は東京都では初めての試みです）された事が発端となり、1962年から高校生による相互交換プログラムが始まりました。現在同事業は『立川・サンバーナディノ姉妹市委員会』の名称で活動し、当クラブは設立当初より関わり、数名の会員が出向してその活動・運営を支援しております。毎年夏休みにはサン市より立川市へ3～4名の選抜高校生が約1ヶ月間市内でホームステイし、彼らが帰国後、今度は立川市の同数程度の高校生がサン市で約1ヶ月のホームステイをし、この間、お互いの「街」への理解や、「文化や習慣」を、さらには「国民性」を学んで帰国するプログラムとなっています。本事業は今年で第50回目となり、過日8月31日例会において帰国報告会が開催されました。各高校生は約1ヶ月間での体験談を若者らしく生き生きと語り、最後に、人生の中で最高の体験とこのプログラムに参加する機会を与えてくれた東京立川RCへの感謝の言葉を述べて終了致しました。「継続は力なり」とよく言われますが、事業継続の背景には安定した事業資金が必要です。現在、東京立川RC全会員は姉妹市委員会の特別会員（年会費一人1万円）となっており、年間100万円程の会費を収め、その活動を継続支援しております。本事業での交換学生は両市合わせて約400名の学生が育ち、期間中一度も事故もなく経過しております。かつて当クラブ輩出の故鈴木正二パスト・ガバナー（2003-04年度）がその所信の一端で『1



年を思うものは「花」を育てよ、10年を思うものは「木」を育てよ、100年を思うものは「人」を育てよ』と云われたことを思い出します。彼等の帰国報告を聞くたびに、本事業の必要性を改めて知り益々の継続を願うものであります。

【親睦】 “一日一善ロータリー”家族会員拡大に成功！

50周年（2009-10年度）を機に100名クラブを目標に掲げた当クラブの会員数は2012.9.21現在104名、今や多摩唯一の100名クラブとなり、第2750地区内93クラブ中7番目の大所帯となりました。本年度会長は“一日一善ロータリー”をテーマに掲げ、会員間の相互理解をより一層強め、ロータリーをより良く理解することに注力しております。特に入会3年未満の会員には積極的に事業参加することを奨励しております。こうした会長の方針もあり、本年8月3日の「納涼家族例会」は家族参加を重視して、午後「噂の東京スカイツリー」観覧、夕食は至近ホテルでアトラクションを交えての懇親会という内容で実施致しました。お陰様で会員数の約50%にあたる51名の家族が参加され大変盛会で、3年未満の会員も数多く参加致しました。普段家族サービスがおそろかな会員の「一日一善・特別サービス」も有り、終始和やかな家族団欒の光景があちこちで見受けられました。我々団塊世代が映画「ALWAYS三丁目の夕日」のごとく、「東京タワーと東京オリンピック」を何かと懐かしんで話題にするように、今回参加されたご家族、特にお子さんやお孫さんが「東京スカイツリー」を話題にするとき、「ロータリーでお父さん、お爺ちゃんと上ったね」、なんて語ってくれたら至極の幸せではないでしょうか……「ロータリー家族ここに51名誕生！」。



45周年記念式典開催

東京三鷹RC 幹事 須田 恵寿

平成24年9月29日土曜日、吉祥寺東急インホテルにて45周年記念式典、記念講演、記念祝賀会を開催いたしました。

当日は快晴になり、多くにお客様にご来場頂きました。記念式典では45周年事業の内容をご説明致しました。「福島県川内村への大型テント寄贈」、「三鷹市全小学校へ災害用プライベートルーム贈呈」、「三鷹市立第一小学校でのドラムサークル開催」、「みたか防災まちづくりディスカッション」、「ポトマック河畔桜寄贈100周年、国際交流絵画展協賛」以上5つの記念事業を行いました。

記念講演は市川伊佐夫パスト・ガバナーに「ロータリーの未来を明るくするには」というテーマで大変参考になる

ご講演を賜りました。記念祝賀会は、もちろん大変な盛り上がりで無事終える事ができました。

当日お越し頂きました皆様、特に遠方からお越し頂きました、郡山北ロータリークラブの皆様にご礼申し上げます。



多摩東グループ 活動通信



2012年森林間伐体験学習 活動報告

東京武蔵府中RC 会長 松木 俊樹 / 東京武蔵府中RC 新世代奉仕委員会 委員長 横山 光芳

私たち東京武蔵府中ロータリークラブでは、姉妹都市盟約を結んでいます佐久穂町との交流の中で、水の大切さ・空気の大切さを自然の体験の中から学ぼうというテーマを掲げ、2012年7月26日(木) 27日(金) 1泊で第6回森林間伐体験学習を行いました。この事業は、2007年に第1回森林間伐体験学習を開催し、府中市の小中学生対象に府中市の広報誌で参加者を募集し、府中市の保養所のある佐久穂町・及び千曲川ロータリークラブに協力戴いて初年度は暗中模索の中でクラブ会員一致団結してこの事業を立ち上げました。

4回目から府中市との共催事業に成長し、今年で6回目の開催となりました。

昨年、2011年7月26日、八千穂レイクにおいて、佐久穂町長(里子)と府中市長(里親)で「地球環境保全のため連携に関する協定」と「森林整備協定」の調印を長野県佐久地方事務所長(仲人)立ち会いのもと行いました。この協定は、姉妹都市盟約を結んでいる府中市の地球環境配慮への高まりから、府中市の家庭ゴミの焼却によって排出されるCO₂の一部を、府中市の予算で佐久穂町の森林整備を行うことによって、得たCO₂吸収量と相殺しようとするものです。こうした活動は、「カーボン・オフセット事業」と呼ばれ、長野県では「森林(もり)の里親促進事業」により展開されています。今後は、佐久穂町と府中市とで地球温暖化防止に向けた森林整備活動に相互に連携・協力します。そのための取組みとして、府中市には佐久穂町の町有林整備を平成23年度より平成27年度までの5年間行います。なお、今年は約20haの森林整備を行います。

また、2011年は協定に基づき、東京武蔵府中ロータリークラブ、佐久穂町、府中市、南佐久北部森林組合の主催により、八千穂レイクで第5回森林間伐体験学習事業が開催され約100名の府中市民が参加しました。

2012年は、青空の広がる中で、南佐久北部森林組合職員10名が講師となり、小中学生60名が、森林間伐作業車

に乗り間伐実体験をしたり、ノコギリなどを使って白樺等を切る体験や、森林組合職員によるカラマツ間伐の実演、伐採した唐松をチェーンソーで切る体験を行いました。参加した子どもたちは、汗を沢山かきながら夢中になって森林整備を体験していました。

また、白駒の池探索及び生態系の学習も同時に行いました。白駒の池は、面積0.11平方キロメートル、周囲長1.35キロメートルで、標高2,000メートル以上の高地にある湖としては日本一です。池から流出した水は大石川として流下し、佐久地域の上水道用水をまかなっており、支流の石堂川(大岳川)では、中部電力による水力発電(大岳川発電所、最大600キロワット)も行われています。

この白駒の池を、参加者がここでしか見られない珍しい植物・苔・野鳥などの探索をして実習を行いました。

開催直前の参加者説明会も開催しており、開催内容は植林された人工林は下刈りや間伐などの手入れをしないとやせた木ばかりになってしまいます。木が生長すると混みすぎて、太陽の光を十分に受けることができません。そこで、適度に木を伐採して本数を減らす間伐を行う必要性を理解して戴きます。また、日本最高地にある白駒の池の説明を同時に行い自然と水の豊かさ・木々と水の関係・CO₂(二酸化炭素)を減らす木の素晴らしさ、私たちが木々や水を大切に利用しようとする気持ちが、思いやりのあるすみよい社会を作り、生命と地球環境を大切に守ることになります。これらの事を、説明会を通して事前に参加者に理解して戴いた上でこの事業に参加して戴いております。

市民と一緒にクラブ会員が汗を流し、行政・市民・団体が一体となって高い志に向かうための橋渡しをしていく活動こそが、ロータリークラブの大切な役割では無いかと思います。

今後、益々内容の充実した事業に成長していけますようクラブ会員一同努力してまいります。



クラブ支援委員会 活動通信



職業奉仕委員会報告

職業奉仕委員会 委員長 日野 正紀 (東京山の手RC)

地区職業奉仕委員会の任務は、地区の全てのロータリアンに職業奉仕の理念を理解頂けるよう活動することにあります。このために、当年度の委員会は次の運営方針で活動しています。

- ・職業奉仕の理念を短い言葉で表現する。
- ・職業奉仕委員会のないクラブに設置を働きかけていく。
- ・職業奉仕について各クラブの皆さんに語りかけることが大切である。年間を通し、各クラブの要請を受けて卓話に赴くことを活動の主体とする。
- ・職業奉仕委員会は委員長1名、副委員長2名、委員6名、の構成であるが、委員諸兄に職業奉仕を解説し、互いに議論を深めてエキスパートの養成を計る。

この方針を実現すべく当年5月、全クラブにアンケートをお願いし、80クラブから回答を頂きました。内容は・職業奉仕委員会の有無 ・職業奉仕活動の内容 ・卓話希望の有無 の3点です。

職業奉仕委員会の有無については、未設置のクラブが15クラブありました。地区の組織に職業奉仕の言葉が消えた年度があったこと、またCLPにより組織の変更が自由度が増したことが原因でしょう。しかし、職業奉仕の理念を伝える委員会は必ず設置すべきです。未設置のクラブには卓話に赴く度に設置をお願いしています。

職業奉仕活動については、的確な活動を行っておられるクラブが過半ですが、インターンシップを職業奉仕活動と捉えているクラブもあり残念な思いです。インターンシップは新世代奉仕であるべきです。これも卓話に赴く度に修正をお願いしています。

卓話については、希望が14クラブ、検討中が27クラブでした。この内30クラブは卓話日程も決まっており、10月末までに21クラブの卓話を終了します。卓話は私と小野

副委員長、照井副委員長で手分けして実施していますが、現在も卓話希望は増えつつあります。ところで、職業奉仕の理念がロータリーの根幹をなすものであることはご案内の通りですが、この理念を理解しておられるロータリアンが多いとはいえません。多くのロータリアンに理解願うのが卓話の目的です。実施してみて、卓話は概ね好評であったとの印象ですが、更に研鑽を重ねたく存じます。

さて、委員会そのものの活動ですが、既に4回開催し毎回活発に職業奉仕を論じており、委員諸氏も卓話に堪える知識を身につけつつあります。しかし職業奉仕の理念を全てのロータリアンに伝えていくには、1年間の委員会活動では全く不足で、理解ある後継者を数多く育てることの大切さを痛感しています。

最後に、職業奉仕の理念を短い言葉で言い表すことに触れます。1981年と2010年の手続要覧で職業奉仕の記述を比べると、理念が急速に薄れつつあることが窺えます。日本では近年ロータリアンの人数減少が著しいのですが、理念の軽視が大きな要因のように思われます。輝かしいロータリーを取り戻すにも職業奉仕理念の理解は重要です。理解を容易にするため、職業奉仕の意味するところを短い言葉で言い表しますと次のようになります。

「職業奉仕とは 職業倫理に基づき顧客満足を目指して自らの職業を営むことである。

職業奉仕の実践は 自らの職業を繁栄に導き 職業を通じて社会に奉仕することに繋がる」

この理念は、日本においては江戸時代からの伝統的な理念と合致しており、至極当然なものです。ご理解頂くのも容易であろうと考えます。

以上、職業奉仕委員会活動がロータリーの発展に役立つものと考え、私達は行動しています。



公共イメージ委員会 活動通信



公共イメージ委員会の活動について

公共イメージ委員会 委員長 森本 行俊 (東京町田サルビアRC)

今年度、公共イメージ委員会では、地区のホームページを一般の人々への「公共イメージと認知度の向上」に資するものに変更をしました。器は作りましたが、まだ中身を入れるに至っていません。トップページには、地区内のクラブの活動写真を入れて紹介することにしています。今年度も4か月が過ぎ、特に夏休みに焦点を合わせた活動を、多くのクラブで実施されていると思いますが、それらの活動について、写真と簡単な説明を当委員会宛てお送りください。ホームページに掲載いたします。

合わせて、各クラブのホームページの立ち上げをお願いし、その方法がわからないと言われるクラブには、手伝いをさせていただいています。費用と手間がかからない方法など、当委員会で協力をする予定でありますから、遠慮なくご連絡ください。

何と言っても、今年度の目玉は、「羽田空港」での広報

活動です。羽田空港のモニターにロータリーの活動を映し出すとともに、ロータリー創立記念日に当たる2月23日には、会員が同空港でイベントを開催して、ロータリーの認知度向上に努めることになっています。現在、京浜グループの全クラブが協力して、効果的な広報活動が展開できるよう、準備を進めています。他のグループの皆さまも、ぜひ当日、羽田にお越しいただきたくお願いいたします。

なお、この活動は、関西国際空港を擁する第2640地区（大阪府南部・和歌山県）と協同で実施する、多地区合同で国際ロータリーの広報補助金を申請し、活用して実施する国内初のプロジェクトです。

公共イメージと認知度の向上には、まず、クラブや個人の活動が重要です。そして、それらの活動をクラブと地区が連携して発信していくことが肝要と思います。ご協力をお願いいたします。



2013年リスボン国際大会へ

国際大会推進委員会 委員長 西山 真理子 (東京青山RC)

国際大会は2013年6月23日(日)～26日(水)、ポルトガルのリスボンで開催されます。2012年12月15日までにご登録いただくと、大幅な早期割引料金が適用されます。大会中のワークショップではRIプログラムに関する重要な最新情報を学び、本会議では心に残る講演を聞くことができ、友愛の家では世界各地の奉仕プロジェクトについて学びながら世界観を広げるとともに、ご自身や地区が実施したプロジェクトを紹介することもできます。特に今年度、田中作次RI会長は日本人として30年ぶり三人目のRI会長です。皆様是非大会に参加し、盛り上げましょう。

また、第2750地区ガバナーナイトを6月24日(月)19:00～21:00、フォーシーズンズホテル・リッツ・リスボンにて開催します。

素敵なディナーで皆様とともにリスボンのひと時を過ごし国際大会を楽しみましょう。

佐久間ガバナーメッセージ

日本ともゆかりの深いポルトガルの首都、リスボン。大航海時代の世界貿易都市での「国際大会」です。世界中から集うロータリアンとの交流を楽しみ、この一年を締めくくりましょう。第2750地区の皆様とリスボンで杯をあげる事を楽しみにしています。



会員の維持は奉仕活動の原点

会員維持委員会 委員長 武藤 英正 (東京世田谷南RC)

今期会員委員には、会員増強・拡大委員会とともに会員維持委員会が別に設置されました。毎年各クラブのご努力で多くの新しい会員を迎え入れておりますが、それ以上に退会者が多いのが現状です。なぜ会員が減少するのか、維持できないのか徹底して調査することが必要です。会員減少の中に転勤や死亡など止むを得ない自然減少は、年間5%程度あると言われております。例えば50人のクラブで自然減少だけで2～3人減ることになります。これが5年続き増強がなければ、15人になります。そのままにしておけば、いかに優秀なクラブであっても、奉仕プロジェクトへの積極的な参加はできなくなり、クラブ運営も存続も危惧されるようになります。当然ロータリーの目的とその使命の達成は出来なくなるでしょう。退会時のアンケートを分析してみると他に職務多忙が理由の多くを占めています。本当に職務多忙が原因でしょうか。その中には、ロータリー活動にマンネリ化を感じていたり、信頼できる良い仲間がないなど別の意味で活動できない理由が含まれているのではないのでしょうか。クラブそのものの活動にも理由があるかもしれません。活発な例会が行われていない、意義ある奉仕活動が減ってきているなどです。一部の会員同士の仲良しクラブになっていないか考えてみる必要があります。退会者の在籍年数を見てみると3～5年と10年以上の方が全体の半数以上を占めています。この傾向を認識し、周り

に該当しそうな方はいないか考えてみる必要があります。ロータリーが少しわかってきた方や役職も終えてほっとしてただ在籍しているだけの方が何かのきっかけで退会してしまうことが多いのです。

今年度佐久間ガバナーの地区運営方針は『ロータリーを楽しもう』という事です。各クラブが改めて魅力ある楽しいロータリークラブを運営していけば、退会しようとする会員の数は確実に減少させることが出来ると思います。会員の退会は、発表された統計によると12月と6月が圧倒的に多くなります。逆に言えばこの2つの月を乗り越えれば、大切な仲間を失うことが減るということです。12月であれば10月頃より、6月であれば4月頃より変化が見られそうな会員に気をつけて頂きたいと思います。会員維持委員会のメンバーが日々努力しても限度があります。退会の意思を固めた会員に思いとどまって頂くことは、非常に難しいことです。クラブ会員全体で周囲の会員に気を配り、その兆候をキャッチして早めに声をかける事が大切です。

会員維持委員会では、会員増強・拡大委員会と連携して各クラブの会員が維持出来るように支援してまいりたいと思います。会員の維持率が良いクラブの会長や増強維持担当者からの寄せられているご意見や方法を検討してみると具体的な対策を実施しています。

そのご意見の一部をご紹介します

1. 新会員に早めに役割を与える
2. 同好会や炉辺会を開催している
3. 卓話に奥様にも参加してもらう
4. 番号札で例会の席を決める
5. 他クラブとの合同例会
6. 誕生日に1分間スピーチ
7. 会員によっては会費負担を軽減
8. 1人の新入会員を何人かでフォローアップ
9. 会員を満足させるクラブ運営
10. 女性会員が入会すると和やかになる

効果的な会員維持策は無いかもしれませんが、その会員を常に積極的に活動させ、情報を伝えることなどコミュニケーションをはかることが大切です。新会員はクラブとのつながりが深まれば、奉仕への熱意が高まると同時に末永くクラブに在籍してくれるでしょう。ロータリーで奉仕活動をしようとするれば、人『会員』がいなければ実践することはできません。原点に立ち戻り大切なロータリー会員を維持していくことを皆さまと一緒に考えていきたいと思っております。



会員委員会開催 ハイアット・リージェンシー東京にて

ICU 東ヶ崎潔記念ダイアログハウス建設支援募金推進委員会 活動通信



「ICU東ヶ崎潔記念ダイアログハウス建設支援募金推進委員会」の活動と協力の御願い

ICU東ヶ崎潔記念ダイアログハウス建設支援募金推進委員会 鈴木 隆志 (東京西RC)

【経緯】

当地区（第2750地区）内にある、国際基督教大学（ICU）はロータリー財団の重要プログラム「ロータリー平和フェローシッププログラム」の全世界での活動拠点6大学の一つであり、特にアジアで唯一のセンターとして重要な任務を遂行し、ロータリー活動に大きな貢献が期待されていると共に、現在も多大な協力をして頂いている大学です。そのICU献学60周年に当り、人々の対話の場として「東ヶ崎潔記念ダイアログハウス」を建設しました。ICUと世界平和を希求するロータリーの諸活動に大きく寄与するものと考えます。

そして、「東ヶ崎潔氏」はわが国初のRI会長として活躍され、戦前から世界平和のため尽力された方であります。この名を国際的な交流・対話の場に明記し多くの方々の記事に留めることは、わが国ロータリーにとって極めて有意義なことです。

【委員会活動】

そこで、このダイアログハウス発足に際し、ロータリーとICUの将来の緊密な関係を考え、わが国全地区の2009～10年度ガバナーが参集し「日本におけるロータリーセンターを支援する委員会」を組成、全国ロータリークラブに募金を呼びかけることとなりました。

当地区といたしましては、ロータリーセンターのこれまで、将来、の寄与、当地区との密接な関係等々を考え、積極的にこれに協力することとし、2010～2013年までの委員会として「ICU東ヶ崎潔記念ダイアログハウス建設支援募金推進委員会」が組織、活動を重ねております。当委員会では、この活動をダイアログハウス建設の為の募金と狭義的に考えてはおりません。ICUは今まで、そしてこれからも「ロータリー平和フェローシッププログラム」の活動の主軸となって頂いている、その支援と考えます。そして募金の活動と、「ロータリー平和フェローシッププログラム」理解の推進を委員会の活動としております。

また、2012年9月の日韓親善会議でもこの活動を、田中作次RI会長にもご説明をし、御理解をいただきました。

【ICUについて】

毎年6月に行われますロータリー平和フェローシップの研究発表会には、委員も出席しました。学生達の平和への願い、研究そしてその行動は素晴らしいものです。是非、この活動へのご理解と参加をお願いいたします。

大学側ではこのハウスによってロータリーとの連携が更に明確になり、将来の国際的な交流の場としてロータリー側の活用を適宜認めることなどを明示しておられます。

【募金について】

第2750地区としては、ICUが東京の当地区にあるという中心的な立場を考慮してさらなる活動を推進しております。全国のロータリアンに呼びかけも率先して行っております。

■当地区募金目標金額:当初15,000千円以上
(全国目標200,000千円)

*2012年9月まで累計実績:16,252千円
(全国36,981千円)

- ①この寄付は、各クラブのご判断でお願いするものですが、出来るだけ全クラブにご賛同願えれば有難いと思っております。御願いできていないクラブもあるようでございますが、何卒御理解を賜りたく御願い申し上げます。
- ②クラブとしておまとめ頂く場合、1回にでも、回数をお分け頂いても結構です。
- ③個人としてのご寄付の場合、「指定寄付」として所得控除の対象となっております。
- ④周年事業にてご検討をいただくケースが多くございます。是非よろしく御願い申し上げます。
- ⑤募金は、地区ではなく学校法人国際基督教大学に直接お振込み頂きます。お振り込みの際はガバナー事務所にもご一報下さい。

【施設利用について】

ICU側からこの寄付に関連しての表明を一部ご紹介します。

- ◆ロータリーの例会、その他の集会を割引金額で会議室利用が可能です。
 - ◆ICU行事への招待の際、並びにロータリー平和センター関連行事の際、遠方からのロータリアン滞在のためにダイアログハウスの研究者寮利用が可能です。
- *ダイアログハウスの利用についてのお問い合わせはICUになります。

【募金推進委員会】

この募金運動を推進するため、当委員会ではDVD（画像）を作成いたしました。ご質問あれば各委員にお尋ね下さい。まだ委員会として活発に活動中です。重ねてご協力の程お願い申し上げます。



米山功労者ご紹介

ご協力を感謝いたします

米山特別功労法人

ジャパンオプティカル(株)

小島 陽一郎君 東京日本橋 2012.9.28 1

米山功労者

紀 正尚君	東京西	2012.9.3	1
黒崎 隆君	東京西	2012.9.3	1
井上 忠道君	東京京浜	2012.9.5	1
久米 正資君	東京京浜	2012.9.5	4
林 達夫君	東京青山	2012.9.5	3
菅沼 安嬉子君	東京銀座	2012.9.6	6
中島 光一君	東京蒲田	2012.9.6	1
平塚 隆志君	東京蒲田	2012.9.6	2
鷲 秀正君	東京中央	2012.9.7	3
志賀 佳子君	東京町田東	2012.9.7	1
福原 有一君	東京銀座	2012.9.13	7
村山 陽君	東京銀座	2012.9.13	1
吉本 喬美君	東京銀座	2012.9.13	9
竹内 保市君	東京品川中央	2012.9.13	1
根本 信男君	東京城西	2012.9.13	5
深澤 朝房君	東京城西	2012.9.13	2
堤 嘉彦君	東京町田	2012.9.14	1
末吉 傳男君	東京町田・中	2012.9.18	7
大谷 信義君	東京銀座	2012.9.20	6
生駒 良治君	東京三鷹	2012.9.20	2
高橋 一義君	東京三鷹	2012.9.20	12
鈴木 健雄君	東京品川	2012.9.21	3
山岸 章二君	東京品川	2012.9.21	5
東 正躬君	東京港南	2012.9.24	4
林 博君	東京三鷹	2012.9.25	12
高島 勝宏君	東京世田谷南	2012.9.26	2
上野 善久君	東京日本橋	2012.9.28	3
黒田 俊幸君	東京日本橋	2012.9.28	1

ポール・ハリス・フェローご紹介

◎はマルチプル
ご協力を感謝いたします

◎ 十萬 幹雄君	東京銀座	9月
◎ 武田 和久君	東京築地	9月
◎ 大津 穰君	東京中央	9月
秋葉 良子君	東京中央新	9月
大和田 義子君	東京中央新	9月
◎ 井上 美悠紀君	東京品川	9月
◎ 伊東 堅君	東京品川	9月
◎ 木村 壽君	東京品川	9月
◎ 木植 タイ子君	東京品川	9月
◎ 鈴木 貞男君	東京品川	9月
◎ 山下 勝意君	東京品川	9月
◎ 竹内 保市君	東京品川中央	9月
長谷部 亮平君	東京西	9月
石黒 重徳君	東京西	9月
春日井 宏君	東京西	9月
片山 英樹君	東京西	9月
黒崎 隆君	東京西	9月
村井 豪君	東京西	9月
村田 稔君	東京西	9月
◎ 渡瀬 正員君	東京西	9月
黒澤 眞次君	東京渋谷	9月
白井 やよい君	東京渋谷	9月
◎ 別紙 壮一君	東京世田谷	9月
◎ 熊本 誠司君	東京成城新	9月
高井 賢郎君	東京町田東	9月
榎本 宏太郎君	東京三鷹	9月
◎ 林 博君	東京三鷹	9月
◎ 生駒 良治君	東京三鷹	9月
酒井 強志君	東京三鷹	9月
◎ 日下部 恵造君	東京昭島	9月
小林 康久君	東京武蔵国分寺	9月
◎ 伊藤 富夫君	東京武蔵府中	9月
Mr. Donald B. Davis	Guam	9月
Mr Jay R Shedd	Guam	9月
◎ Peter R. Wilkinson	Guam	9月

新ベネファクターご紹介

ご協力を感謝いたします

金澤 拓平君	東京青山	9月
手納 秀次郎君	東京銀座新	9月
根本 信男君	東京城西	9月
深澤 朝房君	東京城西	9月
郡 正直君	東京西	9月
大岩 巖雄君	東京蒲田	9月
関口 英朗君	東京国分寺	9月
谷田部 秀雄君	東京三鷹	9月
朝倉 和雄君	東京多摩	9月

文庫通信 (301号)



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会の講演と新着資料より

- ◎ 「ロータリーと戦略計画」
三木 明 2012 6p (D. 2720)
- ◎ 「ロータリーの進化について」
重田政信 2012 8p (D. 2790)
- ◎ 「ロータリーの心と原点」
廣畑富雄 2012 10p (D. 2740)
- ◎ 「善き仲間と共に」
中村靖治 2012 6p (D. 2740)
- ◎ 「ロータリーの心を学ぶための教育の場にもう一度作り変えていく」
上野 孝 2012 6p (D. 2740)
- ◎ 「私が歩みし職業奉仕」
藤川享胤 2012 13p (D. 2670)

上記申込先：ロータリー文庫

- ◎ 「日本ロータリーの曙」
田中毅 源流の会 2012 63p

申込先：田中毅 FAX(06)6491-9899

- ◎ 「発達障害はどこでつまづくのかVol. 3 DVD」
D. 2680 2012

申込先：D.2680 FAX(078)304-2681

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp

開館 午前10時～午後5時
休館 土・日・祝祭日

深く哀悼の意を表し御冥福を祈ります



佐々木 順一 (東京山の手RC)

2012年10月2日逝去 (享年81歳)

1986年5月22日 創立チャーターメンバー

1988-89年 クラブ幹事

1995-96年 クラブ会長

ポール・ハリス・フェロー (マルチプル)

ベネファクター

米山メジャードナー

★国際ロータリー第2750地区出席報告(9月分)★
District 2750 Membership Attendance Report September 2012

区分	クラブ名	例会	出席率	会員数			区分	クラブ名	例会	出席率	会員数		
				12年7月1日	12年9月末	増減					12年7月1日	12年9月末	増減
千代田グループ	東京南	4	70.62	190	191	1	多摩南グループ	東京八王子	4	84.82	57	59	2
	東京芝	4	93.46	85	85	0		東京町田	4	72.93	56	56	0
	東京新橋	4	79.37	48	49	1		東京日野	4	82.39	31	31	0
	東京赤坂	4	70.00	40	40	0		東京八王子西	4	87.12	74	76	2
	東京みなと	4	79.35	45	45	0		東京町田・中	4	75.88	34	34	0
	東京レインボー	3	72.92	32	32	0		東京八王子東	4	95.00	20	20	0
銀座・日本橋グループ	東京麻布	4	73.80	20	21	1	東京八王子南	4	79.92	61	62	1	
	東京銀座	4	79.31	157	159	2	東京町田サルビア	4	85.22	21	22	1	
	東京日本橋	4	80.76	176	179	3	東京飛火野	4	83.92	27	28	1	
	東京築地	3	83.58	69	71	2	東京町田東	4	69.79	24	25	1	
	東京日本橋東	3	84.88	47	48	1	東京八王子北	3	89.19	37	37	0	
	東京中央	4	84.70	206	208	2	東京立川	4	96.67	97	104	7	
	東京日本橋西	4	82.14	40	41	1	東京小金井	4	95.94	29	34	5	
	東京銀座新	4	79.08	61	64	3	東京国分寺	4	97.53	36	39	3	
	東京シティ日本橋	4	79.54	43	45	2	東京三鷹	5	79.10	37	37	0	
	東京中央新	2	75.70	42	44	2	東京昭島	4	73.80	49	49	0	
京浜グループ	東京羽田	4	82.55	39	46	7	東京国立	4	97.51	46	46	0	
	東京品川	4	89.10	54	56	2	東京立川こぶし	4	91.27	78	86	8	
	東京大森	4	91.15	45	45	0	東京井の頭	3	91.70	24	24	0	
	東京品川中央	4	87.07	49	49	0	東京昭島中央	4	76.00	43	46	3	
	東京大井	3	70.59	17	17	0	東京武蔵国分寺	3	82.00	49	49	0	
	東京田園調布	4	76.52	47	48	1	東京小金井さくら	4	76.68	23	23	0	
	東京港南	4	71.05	20	20	0	東京国立白うめ	3	85.96	23	23	0	
	東京大崎	4	87.86	33	35	2	東京府中	4	78.79	59	60	1	
	東京蒲田	3	92.50	58	60	2	東京調布	3	87.90	63	65	2	
	東京京浜	3	75.38	24	23	-1	東京多摩	4	79.81	26	26	0	
	東京田園調布緑	4	83.05	25	28	3	東京狛江	4	88.54	28	30	2	
	東京マリーン	4	70.83	12	12	0	東京稲城	4	77.06	28	30	2	
	東京白金輪	3	82.10	27	28	1	東京武蔵府中	4	82.58	54	55	1	
	東京高輪	2	80.00	23	24	1	東京たまがわ	4	84.39	25	28	3	
山の手東グループ	東京西	4	81.85	154	154	0	東京多摩グリーン	4	79.53	34	35	1	
	東京城西	4	70.80	68	72	4	東京調布むらさき	4	84.62	84	84	0	
	東京西南	4	83.00	50	50	0	東京iシティ	3	77.78	22	21	-1	
	東京原宿	4	70.46	22	22	0	Guam	4	49.00	71	74	3	
	東京杉並	4	76.11	37	37	0	Saipan	4	63.17	40	38	-2	
	東京神宮	4	67.41	33	33	0	Tumon Bay	4	46.54	83	88	5	
	東京恵比寿	4	81.00	103	105	2	Northern Guam	4	52.00	31	31	0	
	東京広尾	4	76.93	13	13	0	Pohnpei	4	46.00	17	18	1	
	東京渋谷	3	76.98	32	33	1	Palau	4	60.00	19	16	-3	
	東京六本木	3	70.00	50	51	1	Guam-Sunrise	4	62.00	27	29	2	
山の手西グループ	東京世田谷	4	90.70	53	56	3	Truk Lagoon	4	35.00	13	13	0	
	東京目黒	4	94.34	39	42	3	国内85クラブ計			4,184	4,291	107	
	東京成城	4	79.05	19	20	1	地区93クラブ計			4,485	4,598	113	
	東京世田谷南	4	76.00	93	93	0	千代田グループ	77.07	多摩南グループ	82.38			
	東京城南	2	62.00	33	34	1	銀座・日本橋グループ	81.08	多摩中グループ	87.01			
	東京山の手	4	85.71	61	63	2	京浜グループ	81.41	多摩東グループ	82.10			
	東京成城新	4	80.20	41	42	1	山の手東グループ	75.45	PBグループ	51.71			
	東京青山	4	90.66	27	27	0	山の手西グループ	81.79	平均出席率	78.82			
	東京自由が丘	4	72.37	20	20	0							
	東京世田谷中央	3	96.67	7	11	4							
東京米山友愛	3	68.10	28	28	0								
東京米山ロータリー-EC2750	3	85.71	28	28	0								

暑い日が続き、ようやく秋がきたように思われましたが、ここのところ冬に向かって寒くなってまいりました。

ロータリー財団のプログラムは拡大発展をたどってきておりますが、会員維持においては今の社会状況を考えますと厳しいものがあります。

しかし以前と比べますと女性会員の数も増加しつつあり、会合も和らいだ雰囲気であると感じられます。

これからも運営の簡素化、改善等皆様と共に考え、又、会員の維持、増強にご協力をお願いいたします。

2012-13年度ガバナー月信・IT委員会委員 舟橋 千鶴子(東京高輪RC)

国際ロータリー第2750地区 2012-13年 ガバナー 佐久間 崇源
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2012-13 Governor Takamoto Sakuma
KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行：ガバナー 佐久間 崇源 (2012-13) ©Takamoto Sakuma 2012

編集・制作：ガバナー月信・IT委員会 委員長 羽田 伊助 副委員長 木村 清信 副委員長 竹平 時彦 副委員長 織田 ゆり子
舟橋 千鶴子 石黒 重徳 畑中 義雄 浅見 省三 アンドリュー・ウォン 河村 勝久 坂場 一隆 田中 廣 堀口 昇治
望月 耕次 山見 真弘 小高 俊明

ホームページアドレス <http://www.ri2750.org/>